

平成19年度

第1回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成19年9月3日(月)13:29~15:09
- 2 場 所 岡山市保健福祉会館 9階 大会議室
- 3 出席者 委員10名
- 4 傍聴者 報道1名
- 5 議 題 障害者プランの策定について

- 6 主要な意見
 - ・当プランをいいものにしようと思えば、発達障害の代表の方に入って頂いた方が幅が広がるのではないか。
 - ・発達障害の人たちの声も入れたプランをつくってほしい。
 - ・軽度発達障害やコミュニケーション障害などの人たちの声も入れてください。
 - ・福祉サービスの関係というのは、いい人材を養成し、確保するかということが大切である。この問題は非常に難しい。
 - ・発達障害で適応障害に陥っている人たちに対する抽出するかというのを考えてアンケートをとってもらいたい。
 - ・アンケート内に高次脳機能障害の問題をどのように取り上げているのか。
 - ・3障害(身体、知的、精神)間で比較、検討してみるということも必要ではないか
 - ・障害者の方自身の自立のための取り組みという現状などをプランの中へ入れてはどうか。
 - ・精神障害の場合、世間の偏見もあり手帳の所持者は少ない。その為、アンケート数も少なくなっている。もう少し人数を増やしたらどうか。
 - ・障害児保育拠点園に専門家が各1人ぐらいは配置してほしい。
 - ・自閉症協会の岡山県支部会員の内、7割くらいが岡山市に住んでいる。策定委員会の中に代表者の人に来ていただければ、かなりの問題点を指摘していただけるのでは。